

脳神経外科

未破裂動脈瘤

脳の動脈、特に分岐部がコブ状に膨らんだ状態、これを脳動脈瘤と言います。未破裂脳動脈瘤はこのコブが破裂しないままの状態です。このコブが破裂するとくも膜下出血です。約半数の人が生命に関わり、社会復帰できる人は3人に1人です。破裂する前は症状がありませんから自分では気付きません。しかし脳ドックの

普及に伴い発見される機会が増えていきます。一般に人口の2〜6%の人が脳動脈瘤を持っています。このうち、コブの最大径が5ミリ以上ある場合が治療の対象になります。理由は年間の破裂率が1%以上あるからです。くも膜下出血を予防するために、コブの根元をクリップで挟んで血流を遮断する手術と、マイクロカテーテルを用いた血管内治療があります。

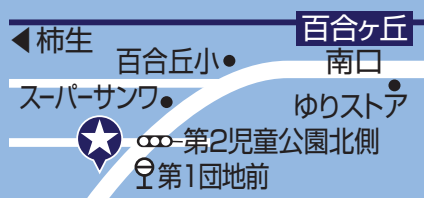
重要なことは未破裂脳動脈瘤の治療は、くも膜下出血の予防ですから、信頼できる脳外科医に相談することで。特に高血圧治療と禁煙は必ず実行してください。



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科

いしだクリニック



☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>